

いづども
生き生き未来づくり

高等教育機関設置準備費 **重点**

旭川大学をベースとした公立大学の設置に向けて、準備に係る体制づくりなどの取組みを推進

230万円

児童虐待予防・早期発見推進費 **新規重点**

関係機関と連携し、妊産婦・児童・保護者・家庭の状況に応じて訪問等の相談支援を実施

672万円



学校ICT環境整備費

GIGAスクール構想で整備した1人1台タブレット端末等の円滑な運用、効果的な活用により情報教育を推進

7,218万円

母子保健推進費

乳幼児の成長発達を促し、健康の保持増進を図るため、既存の乳幼児健診に10か月児健診を新設

3,667万円

出産支援推進費

既存の妊産婦健康診査の助成対象に市外で受診した産婦健康診査を追加する他、電子母子手帳を新たに導入

1億5,756万円

木材利用・普及啓発推進費 **新規**

森林教室の開催や、食ベマルシェへの出展等により、森林や木材利用の普及啓発を推進

214万円

地域連携技術者育成支援費 **新規重点**

旭川工業高等専門学校と地域企業との連携促進を図り、地域企業の課題解決と持続的な発展を支援

151万円



しびんと
活き活き賑わすまちづくり

観光受入体制充実費 **重点**

観光資源でもあるアイヌ文化の魅力を伝えるため、モデルコースの情報発信や案内板等の整備を実施

500万円

ICTパーク運営費 **重点**

eスポーツやプログラミング的思考体験拠点として、中心市街地のにぎわいづくりと人材育成の事業を展開

7,290万円

デザイン推進事業費 **重点**

デザインセミナーやイベントを開催する他、デザイナー同士の交流拠点の設置を検討

2,362万円

地域学校協働活動推進費 **新規重点**

地域学校協働本部の設置やコーディネーターの配置により、地域と学校の連携・協働を推進

11万円

高齢者等除雪支援事業費 **重点**

高齢者等の住宅前道路除雪について、地域の支え合いによる除雪体制を構築し取り組む地域を拡大

556万円



地域
こまごま温もるまちづくり

「旭川市の予算はどうなっているの？」
をご覧ください



予算の内容や財政状況、主な事業を分かりやすくお知らせする冊子「旭川市の予算はどうなっているの？」を、市政情報コーナー（総合庁舎1階）、各支所・公民館などで4月下旬から配布します。



予算の詳細い内容は市で見られます

特集 令和3年度

旭川市の予算はどう使われるの？

令和3年度 旭川市の予算

合計 2,810億3,691万円
(前年度比 +57億7,702万円)

一般会計 1,601億3,000万円
(前年度比 +49億円)

特別会計 1,209億691万円
(前年度比 +8億7,702万円)

(国民健康保険事業や動物園事業など10事業)
※万円未満は四捨五入により端数処理しています。

【詳細】 政策調整課☎25・5358、財政課☎25・5672

新型コロナウイルス感染症に関する対策、総合計画で掲げる重点テーマ「こども」「しごと」「地域」を中心に、主な事業や予算の内容をお知らせするよ



イノベーションモデル創出支援費 **新規重点**

コロナ禍で変容した社会に対応するため、新たなビジネスモデルを創出する事業者を支援

1,252万円

新型コロナウイルス感染症対策費 **新規**

感染拡大防止のため、医療機関と連携して感染症への対応を行う他、感染予防の普及啓発等を実施

9,674万円

はたらく環境づくり支援費 **重点**

テレワークの導入やテレワークを活用した雇用創出に対する助成を実施

753万円

教育旅行等誘致促進費 **新規重点**

修学旅行や合宿による宿泊者に、飲食店等で利用できるクーポン券を配布し、市内への宿泊を促進

1,392万円

科学館(サイバル)事業活動費

3Dプリンタなどを活用したものづくり事業を実施する他、デジタル地球儀、錯覚体験コーナーを新設

1,520万円

市制施行100年記念事業準備費 **新規**

市制施行100年を迎える令和4年に向けて、実行委員会を設立し、記念式典などの準備を開始

370万円

コロナ危機から
日常を取り戻す



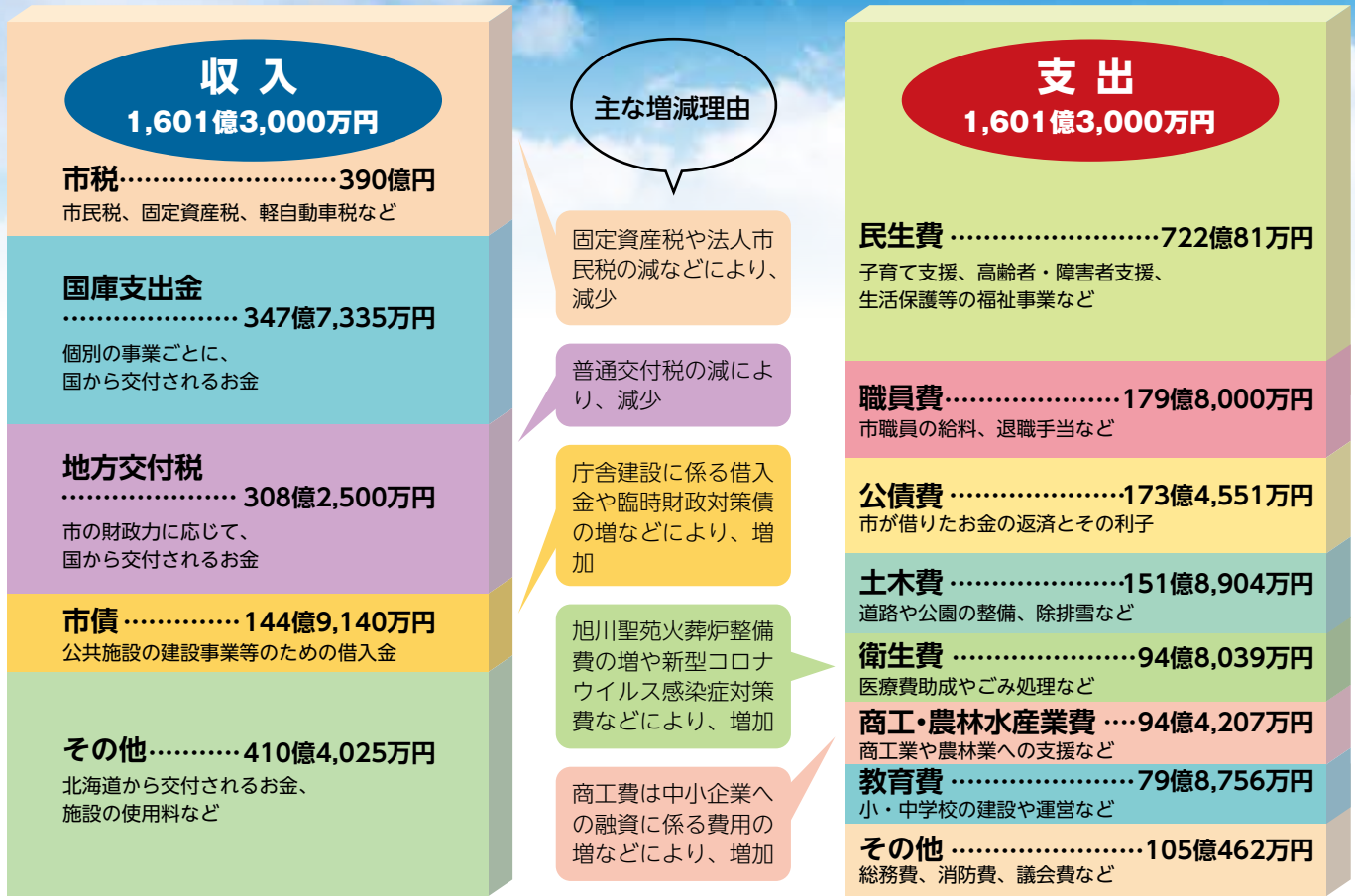
新型コロナウイルス収束に向けて、引き続き感染症対策にご協力を！



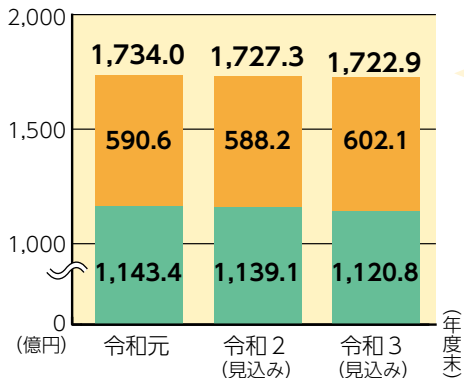
誰もがいきいきと
暮らせる
まちづくり



一般会計予算の内訳

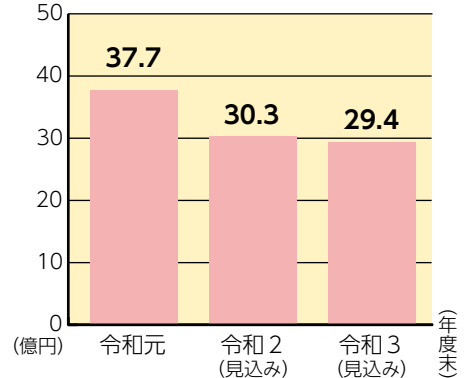


市債残高の状況



市が公共事業等を実施するための借入金です。将来にわたって分割で返済していくことで、世代間の負担を公平にする役割があります。建設事業等債は減少していますが、令和3年度は臨時財政対策債の増が見込まれるため、臨時財政対策債の残高が増加しています。全体の残高は減少しており、引き続き計画的に借入れを行っていきます

財政調整基金残高の状況



予期せぬ減収や災害などの不測の支出に備えるための市の貯金です。不測の事態に備え、できるだけ減らさないような財政運営に努めます

■ 臨時財政対策債＝国の財源不足による地方交付税の不足分を補うための借入金（臨時財政対策債の返済費用は、全額が後年度の地方交付税の必要額に算入され、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように措置されることになっています）
■ 建設事業等債＝道路や学校などの建設事業等のための借入金

身近なところに使われている予算

財政状況を踏まえ、特別職職員の給与を減額しています

区分	市長	副市長
給料月額 (減額前)	861,000円 (1,050,000円)	787,150円 (865,000円)
期末手当 (減額前)	支給割合 年間4.15月分 (年間4.45月分)	

(令和3年4月1日現在)

<p>水道 118億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水道水をつくるための費用 ●水道管・浄水場の建設・改修 ※企業債の返済や職員給与を含む 	<p>除排雪 35億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道路の除排雪費用 ●ロードヒーティングの維持管理
<p>下水道 135億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●下水を処理するための費用 ●下水道管・下水処理場の建設・改修 ※企業債の返済や職員給与を含む 	<p>ごみ処理 31億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ごみの処理・運搬 ●清掃工場の管理・運営